

平成26年度の主な事業報告

社会福祉法人水俣市社会福祉事業団

社会福祉事業

平成26年度は、指定管理者制度のもと水俣市立明水園(療養介護)の施設管理及び経営を行い、施設利用者の福祉及び医療の充実並びに健康の増進に努めました。

恵愛園(養護老人ホーム)については、個々の状況に応じた支援計画をもとに自立した生活が送れるように支援するとともに、健康増進並びに施設設備の整備による安全面の向上、業務の効率化に努めました。

わくワークみなまた(就労移行支援、就労継続支援B型)については、一般就労へ向けての支援並びに勤労意欲の向上や知識、能力の向上を図る支援を行いながら工賃アップに取り組むとともに、多様化する利用者の障がいに対応出来るように職員の資質の向上に努めました。

各施設の短期入所事業、地域生活支援事業については、利用者一人ひとりの暮らしを支えるケアの充実にも努め、地域における福祉の向上及び増進に寄与いたしました。

県からの受託事業である水俣病患者等に係る地域生活支援事業については、外出支援事業及びぬくもりの家「潮風」運営事業を行うとともに、保健福祉ネットワーク事務局運営事業を受託し、企画部会、全体会議等を実施しながら、関係機関の連絡調整を行いました。

(1) 総括事項

ア 運営状況

本年度における事業運営の状況は、次のとおりでありました。

(ア) 明水園

支援事業の年間利用者数は18,514人(1日平均50.7人)で、前年度と比較して1,954人の減少となりました。

入院患者数は23,199人(1日平均63.6人)で、前年度と比較して27人の増加、外来患者数は530人(1日平均2.9人)で、前年度と比較して22人の減少となりました。

(イ) 明水園短期入所事業

年間の利用日数は191日で、前年度と比較して10日の減少となりました。

(ウ) 恵愛園

年間措置者数は591人(1月平均49.3人)で、前年度と比較して3人の増加となりました。

(エ) 恵愛園短期入所事業

年間の利用日数は165日で、前年度と比較して95日の増加となりました。

(オ) わくワークみなまた就労移行支援事業

年間延べ利用者数は1,340人(1日平均5.5人)で、前年度と比較して746人の減少となりました。

(カ) わくワークみなまた就労継続支援B型事業

年間延べ利用者数は7,647人(1日平均31.3人)で、前年度と比較して1,211人の増加となりました。

イ 事業報告

理事会等の運営事業につきましては、円滑かつ効率的な運営に努めてまいりました。施設間の連絡・調整に関しましては、適正な施設運営と事業の充実強化を目指し、事務連絡会議等により事務事業の連携を図り各施設の支援を行うとともに、組織の活性化にも努めてまいりました。

職員の福利厚生事業につきましては、定期健康診断、生活習慣病健診を実施し、健康管理面に配慮いたしました。

また、経営計画検討委員会(3回)及び作業部会(7回)を実施し、中期経営計画の見直しに取り組みました。

ウ 財政状況

法人会計では、約1億円の国債購入費用を差引いて約5,000万円の収支差額が生じておりますが、前年度と比較しますと約5,300万円減少しております。

収支の内訳としては、収入では法人本部の医療事業収入並びにわくワークみなまたの自立支援給付費収入は前年度と比較して増収となりましたが、明水園の自立支援給付費収入は、大幅な減収となりました。また、支出については人件費及び修繕費が正規職員の採用並びに老朽化した設備補修などの理由により前年度と比較して増加しております。

エ 今後における当面の課題

水俣市立明水園につきましては、水俣病胎児性患者等の高齢化に伴う抜本的不安解消事業の一つとして個室化の推進等も検討されておりますので、熊本県及び水俣市と連携し、利用者及び保護者の要望に沿った施設整備並びにサービスの提供を行うとともに、今後の実施事業等について検討していく必要があります。

また、わくワークみなまたにつきましては、障害者の就労支援施設として順調な経営を維持しておりますが、利用者の安定確保並びに工賃アップのための授産事業の効率化が、今後の課題となっております。

恵愛園につきましては、水俣市からの措置費で運営しておりますが、養護老人ホームであるため最小限の職員配置で運営しております。今後、経営の安定のためにも、入所定員を充足させていくのはもちろんのこと、職員の増員を図れるような各種加算の取得について市当局と協議しながら取り組んでいく必要があります。

公益事業

(ア) 明水園地域生活支援事業(日中一時)

年間の利用回数は0回で、前年度と比較して6回の減少となりました。

(イ) わくワークみなまた地域生活支援事業(日中一時)

年間の延べ利用回数は547回で、前年度と比較して432回の増加となりました。

(ウ) 恵愛園デイサービス事業(介護予防事業)

年間に98回実施し、1,516人の利用(1回当たり平均利用者数15.5人)があり、前年度と比較して101人の減少となりました。

(エ) 水俣病患者等に係る地域生活支援事業

外出支援サービスの年間利用回数は168回(わくワークみなまた48回、ぬくもりの家「潮風」120回)で、前年度と比較して9回の増加となりました。

ぬくもりの家「潮風」運営事業は、221日の利用があり前年度と比較して49日の増加となりました。

水俣・芦北地域水俣病被害者等保健福祉ネットワーク事業については、事務局として全体会議、企画部会、研修委員会、ISUIみらい作戦会議、研修会・セミナー、先進地視察、施設間交流研修等を実施しました。

(オ) みなよし障害者就業・生活支援センター事業

障害者に対する相談支援2339件並びに事業主に対する支援406件を実施し、就職件数20件、職場実習件数10件となりました。

収益事業

なし